

海外安全対策情報（2018年7月～9月）

1 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

カンボジアでは、都市部や観光地を中心に、ひったくり、置き引き、スリ、いかさま賭博等の一般犯罪や、拳銃やナイフを使用した強盗等の凶悪犯罪が多発しており、多くの日本人観光客や在留邦人が被害に遭っています。特にひったくり事件は、日本のそれとは全く別物で、時間帯（朝、昼、夜）・場所（大通り、裏通り、通行量）等に関係なく発生しています。バッグをたすき掛けにしたり、車道とは反対側に持つなどの対策を取っていたにもかかわらず、強引に奪い取られ、怪我を負う被害が発生しています。また、トゥクトゥク（三輪タクシー）やモトドップ（バイクタクシー）で移動中にひったくりに遭い、転落して重傷を負う、たすき掛けにしていたバッグを強引に掴まれ、引きずり回されて怪我をするなどの被害状況も度々報告されていることから、移動の際には「バッグなどの荷物は持たない」、「タクシー等の自動車を利用する」、「周囲への警戒を怠らない」など、とにかく狙われないための対策が必要です。

また、9月23日には、プノンペンにおいて銃器を用いた銀行強盗が発生しました。そのような予兆を察知した場合はその場から離れる、不幸にもその場に出くわした場合には、銀行の金銭強奪が目的である銀行強盗の特性を念頭に置いて、抵抗はしない、逃走の邪魔をしないこと等に留意して下さい。

なお、内務省国家警察の統計による7月から9月の犯罪発生状況は以下のとおりです。

罪種	7月	8月	9月	合計
殺人	13	15	12	40
強盗	13	13	10	36
強姦	18	15	20	53
ひったくり	30	32	32	92
窃盗	82	88	78	248
詐欺等	18	15	17	50
傷害	66	58	57	181
わいせつ	4	2	1	7

2 テロ・爆弾事件発生状況

2008年のカンボジア・ベトナム友好記念碑における爆弾事件（負傷者なし）、2009年の国防省及びTV3（民放テレビ局）前における爆発物設置事件等、テロ関連の事件が過去に発生しています。現在のところ、大規模テロにつながるような情勢の変化は認められませんが、反政府勢力が本年4月のクメール正月期間中に爆弾テロを計画していたとの報道もあります。常に最新の情報を入手する、人の集まっているところに不用意に近づかない、不審な兆候を察知したら直ちにその場から離れるなどの安全対策を常に心掛けてください。

3 誘拐・脅迫事件発生情報

内務省国家警察によれば、2017年中の身代金目的の営利誘拐は5件、その他の目的の誘拐は3件発生していますが、日本人を対象としたものはありません。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

現在のところ、日本企業の安全について特段の問題があるとは認識していません。

5 対日感情

現在のところ、我が国のカンボジアに対する和平プロセス以来の積極的且つ継続的な経済協力の実施等により、カンボジア国民の対日感情は概して良好であり、特段の反日感情は見当たりません。